

			科目コード*	222
科目名	小児看護方法論 (Child Health Nursing Methods)		開講学科	看護学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	2単位 (60時間)	履修時期
担当教員	枝川 千鶴子、藤原 紀世子		科目区分	専門科目
授業概要	さまざまな健康レベルにある小児とその家族 (同胞を含む) の権利擁護に配慮した看護を実践するために必要な基礎的知識と技術の習得を目的としている。小児期の特徴的な健康障害と看護について、発達課題の達成やセルフケア能力の向上など成長発達を踏まえた看護について教授する。			
授業目標	小児の健康レベルに応じた看護を実践するために必要な基礎的知識と技術について理解することができる。小児と家族 (同胞を含む) の最善の利益を考慮した看護について考えることができる。事例をもとに、疾患や障害をもつ小児の病態生理、成長・発達、家族の状況から、必要な看護を考え記述することができる。			

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1～4	小児の入院～退院、外来における看護	小児の病気理解、小児の権利と必要な看護行為	枝川千鶴子
		検査や処置を受ける小児と家族の看護、プレパレーション	藤原紀世子
		健康障害や入院が小児と家族に与える影響	枝川千鶴子
		外来における小児と家族の看護	
5～9	急性期にある小児と家族の看護	小児によく見られる発熱、嘔吐、下痢、脱水などの症状と看護	枝川千鶴子
		急性期にある小児と家族の看護 (呼吸器疾患)	
		小児の手術の特徴、小児の周手術期の看護と家族の援助 痛みの表現方法、痛み緩和への援助	枝川千鶴子
		急性期にある小児と家族の看護 (感染症)	藤原紀世子
10～12	慢性期にある小児と家族の看護 (1)	発達障害児と家族の看護 (教育協力者)	枝川千鶴子 藤原紀世子
		慢性期の特徴 慢性期にある小児と家族の看護 (血液・造血器疾患、悪性疾患、 腎・泌尿器系疾患)	枝川千鶴子
13	小児看護技術 (1)	演習：発達段階を考慮した説明・支援ツールの作成	枝川千鶴子 藤原紀世子
14～18	慢性期にある小児と家族の看護 (2)	慢性期にある小児と家族の看護 (神経疾患・感覚機能障害)	枝川千鶴子
		小児を対象とする訪問看護の実際 (教育協力者)	枝川千鶴子 藤原紀世子
		医療的ケア児を支える医療・福祉・教育の連携	枝川千鶴子
		慢性期にある小児と家族の看護 (代謝性疾患、内分泌疾患、 免疫・アレルギー性疾患)	藤原紀世子
19～24	小児看護技術 (2)	演習：輸液の援助、吸引 (口鼻腔・気管) 経管栄養、救命処置 (BLS) バイタルサイン・採尿 等 看護過程の展開 (グループワーク)	枝川千鶴子 藤原紀世子
25・26	看護過程	看護過程の展開 (グループ発表と質疑応答)	
27	救急処置を必要とする小児と家族の看護	小児の事故・外傷・誤飲・熱傷・溺水と看護	藤原紀世子
28	ハイリスク新生児と家族の看護	ハイリスク新生児の特徴と看護、家族関係促進への援助	枝川千鶴子
29	終末期にある小児と家族の看護	小児の死の概念、終末期にある小児の緩和ケア	
30	成人への移行期にある小児と家族の看護	成人への移行期にある健康障害をもつ小児と家族の看護 自立支援	
成績評価方法		定期試験(80%)、レポート(15%)、授業に対する取り組みの積極性(5%)で評価する。	
教科書		小児看護対象論、臨床病態学Ⅲで使用したもの 山元恵子監修「写真でわかる小児看護技術 アドバンス」(インターメディカ)	
参考図書等		石黒彩子・浅野みどり編集「発達段階からみた小児看護過程」(医学書院)	
備考		授業はスケジュールの都合上、変更する可能性があります。	